

令和5年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	関市	代表者名	山下 清司
担当者部署	財務部 行政情報課 デジタル推進室	連絡先電話番号	0575-23-7712
担当者役職	デジタル推進室長	担当者氏名	井藤 明美
住所	501-3894 岐阜県関市若草通3丁目1番地		

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	本山 政志
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	関市が希望する内容での研修（講演）が期待できると思ったため。
アドバイザーへの要望事項	関市に不足していると思われる点について、研修本番では強く伝えていただきたい。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	期日・支援内容の変更あり	WEBでの手続き日	受付番号
	令和5年11月7日	事前打合せ(オンライン)	有	令和5年10月3日	942
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和5年11月8日	事前打合せ（オンライン）	13時30分	15時00分	
				活動時間（分）	90
3-2. 派遣場所	会場名	オンライン	最寄駅	オンライン	
	所在地	オンライン	最寄駅からの交通手段	オンライン	

4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可	https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/
------	---------------------------	---

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	研修を主催する課の職員	2人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	昨今「DX」、「ICT」といったワードを多く聞くが、実際にどのようなもので、取り組む必要性があるのか等の基礎的な知識が根付いておらず、職員間で地域情報化への意識のバラつきが見られる。デジタル技術を取り入れることで、業務効率向上や市民サービス向上が図られることを認識し、それらの活用方法や取り入れ方についても知識を深堀りすることができる職員の育成(デジタルマインドの醸成)が大きな課題となっている。	
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	幹部職員が課内でどのようにデジタル化に対応し得る人材の育成を行うか、デジタル技術を駆使しての事業の構築の取り組み方や考え方等について学び、デジタル化の推進への機運を高める	
アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい）	11月21日の研修会での講演内容について調整 市の意向についての再確認 今後のスケジュール確認	
支援を受け改善又は解決された内容（具体的にご記入下さい）	市の意向が反映された講演内容へ一部修正していただくことで、合意	

具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	特になし	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。	
	事前打合せのため	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるもののリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
事業の最終的な目指す姿	デジタル化についての取り組みの重要性を認識し、デジタルマインドの醸成がされる	

なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

